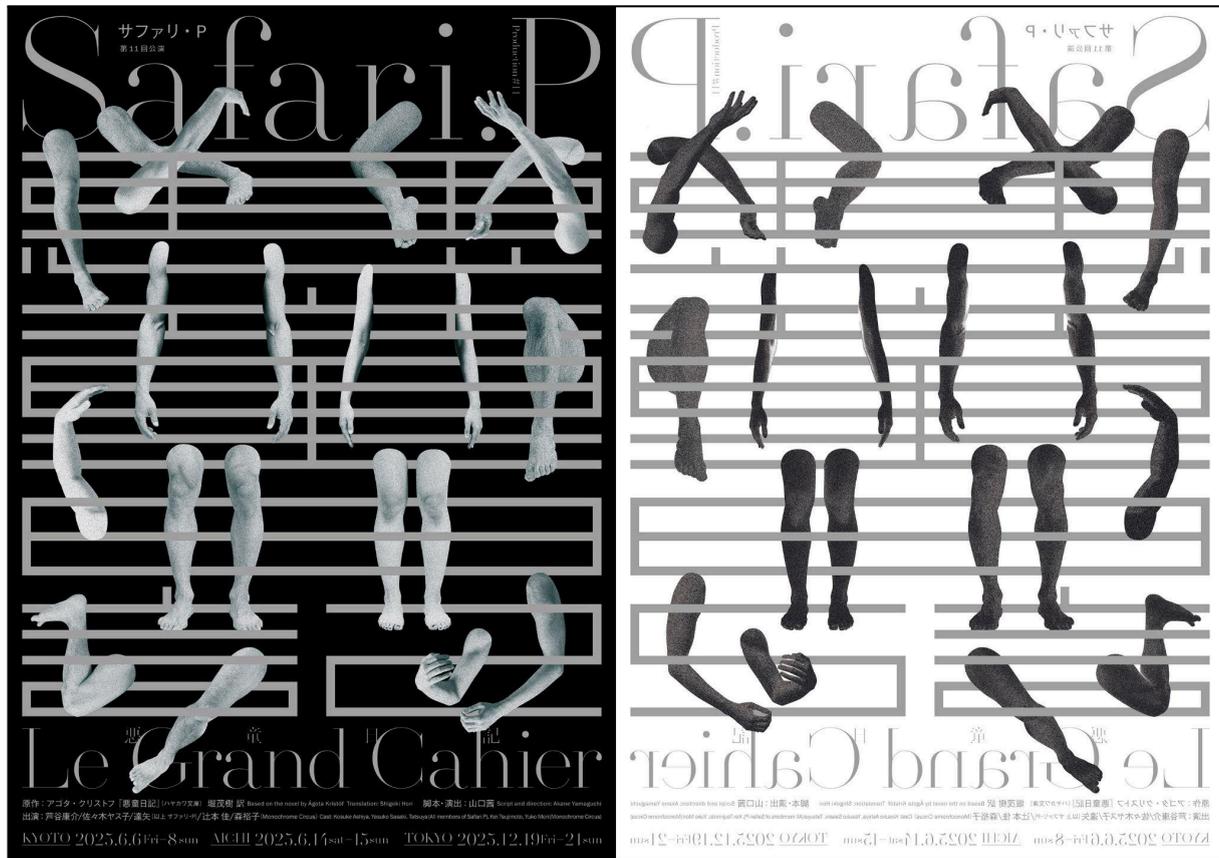


サファリ・P 第11回公演『悪童日記』



原作小説『悪童日記』(著:アゴタ・クリストフ)は、第二次世界大戦下のヨーロッパを舞台に、作家自身が難民として亡命した先のスイスで、母国語ではない言語で執筆されました。

サファリ・Pは小説を下敷きにし、『悪童日記』を2017年に初演、5つの無機質な台と5人の俳優、抑揚を排除した言葉によって、物語の表層的な再現ではなく、主人公である双子の日記の「文体」を舞台化することに試み、物語の本質を炙り出す表現で話題を呼びました。

2025年版では、新たなキャストと新演出により、物語のもつその無機質な印象を、小説同様徐々に覆し、作者アゴタ・クリストフが体験した戦時下の片田舎の風景と、そこから浮かび上がる、非常時に顕になる人間の本质をリアルに立ち上げます。

本公演に関するお問合せ

stamp制作部

住所 〒602-8359 京都市上京区出水通六軒町東入七番町324番地1

E-MAIL seisaku@stamp-llc.com

TEL 03-4213-4290 (合同会社syuz'gen内 担当者:水戸 平日10:00-18:00)

WEB stamp-llc.com/

資料ダウンロード (チラシPDFデータ、舞台写真、キャストプロフィール写真)

<https://drive.google.com/drive/folders/1Y0Psf tL1B5BLaVkahkg7qBW9kbQ6yNWS?usp=sharing>

公演概要

あらすじ

幼い双子は日ごとに激しさを増す空爆から逃れる為、母親と別れ、祖母のもとへ疎開する。ところがそこは、不潔さと暴力、過酷な労働にまみれた場所だった…。祖母や村の大人たちは双子を罵り、殴る。双子は人々の暴力から己の身を守るため、厳しい訓練を自らに課し、言葉からその意味を剥奪していく。

二人はまた、日記を書く。その日記には、日々起きたことに対する感情や印象を一切排除するというルールがある。そうやってできたノートがこの「悪童日記」である。

戦争は双子の疎開するこの小さな町にも及ぶ。

果たして双子は生き延びることができるのか。

双子の心は、守られるのか。

京都公演

2025年6月6日(金)～8日(日)

上演時間

6日(金) 19:00☆

7日(土) 13:00☆

8日(日) 13:00●

ロームシアター京都 ノースホール

住所: 京都府京都市左京区岡崎最勝寺町13

URL: <https://rohmtheatrekyoto.jp/>

愛知公演

2025年6月14日(土)～15日(日)

上演時間

14日(土) 13:00☆

15日(日) 13:00●

メニコン シアターAoi

住所: 愛知県名古屋市中区葵3丁目21-19

URL: <https://meniconart.or.jp/aoi/>

東京公演

2025年12月19日(金)～21日(日)

上演時間

19日(金) 19:00☆

20日(土) 13:00☆

21日(日) 13:00

すみだパークシアター倉

住所: 東京都墨田区横川1丁目1-10

URL: <https://theater.sasayacafe.com/>

●=託児サービス

☆=字幕タブレット貸出し

受付開始は開演の45分前、開場は30分前

上演台本・演出:山口茜(やまぐちあかね)

劇作家、演出家。合同会社stamp代表社員。2003年、第10回OMS戯曲賞大賞を受賞。2007年、若手演出家コンクール2006最優秀賞を受賞。2007年から2009年までの2年間、文化庁新進芸術家海外留学制度研修員としてヘルシンキ(フィンランド)に滞在。帰国後、活動を再開する。2012年文化庁芸術祭新人賞を受賞。2013年、龍谷奨励賞を受賞。2015年、利賀演劇人コンクール優秀演出家賞一席受賞。アトリエ劇研アソシエイトアーティスト(2015年度～2017年度)、セゾン文化財団シニアフェロー(2016年度～2018年度)、龍谷大学非常勤講師(2010年～)、メニコンシアターAoi芸術監督(2023年～)。

出演者

芦谷康介

俳優・パフォーマー

大阪府出身。京都芸術大学(旧・京都造形芸術大学)舞台芸術学科卒業。主な出演作に京都芸術大学舞台芸術研究センター上演実験シリーズvol.22『聞こえる、あなた?-fuga#3』(作・演出/太田省吾)、第1回精華小劇場製作作品『イキシマ breath island』(作/松田正隆 演出/松本雄吉)、木ノ下歌舞伎 舞踊公演『三番叟』(演出/杉原邦生) 南米チリ公演、KYOTO EXPERIMENT2013、第18回女性芸術劇場『姉妹たちよ』(演出/樋口ミユ)などに出演。

また、パフォーミング・アートグループソノチ風景演劇シリーズ『風景によせて』、「みんなの劇場」こどもプログラム『かむじゆうのぼうけん』シリーズなど既存の劇場や観客の枠を超えた幅広い作品に参加している。サファリ・Pには立ち上げより参加。



Photo_中谷 利明

佐々木ヤス子

神戸大学 発達科学部 人間表現学科卒業。同大学在学中より演劇活動を開始する。ナンバーバルシアター「ギア-GEAR-」レギュラー出演中。

第27回関西現代演劇俳優賞大賞を受賞。その他、「エミィ賞グランプリ」にて作品賞を受賞するなど、コメディエンヌとしても評価を受けている。ミクニヤナイハラプロジェクト、桃園会、劇団壱劇屋、劇団ガバメンツ、劇団コケッコウ、突劇金魚、匿名劇壇などに出演。コメディからシリアスな役どころまで柔軟に適應できる演技力には定評がある。



達矢

世界一を決めるブレイクダンスの大会『Battle of The Year』その日本大会において2008年 2位・2010年 2位の成績を収める。世界最大のストリートダンスコンテスト『JAPAN DANCE DELIGHT』各地の予選を勝ち上がり2009年、2010年ともにFINALISTに選ばれる。

現在はダンスだけでなく、様々な舞台へと活動の場を広げている。ナンバーバルシアター『ギア』にレギュラー出演中。



辻本佳

ダンサー

5歳から20歳まで柔道を学ぶ。09'-13'カーン国立振付センターCompany FATTOUMI LAMOULEUX" Just to dance..."に参加。Monochrome Circus、あごうさとし、やなぎみわ、康本雅子、井田亜彩美、藤本隆行、北村明子などの作品に出演。

故郷である紀州熊野でフィールドワークを行い、自然物、音、写真、身体感覚を収集し、自らの身体を媒介とし再構築することで舞台作品を制作している。



撮影:金サジ

森裕子

ダンサー・振付家。1996年よりダンスカンパニーMonochrome Circusのメンバーとして上演300回を超える『収穫祭プロジェクト』や『HAIGAFURU/Ash is falling』など、カンパニーの主要作品に出演。

小柄で中性的な身体、そして機敏な動きが魅力。2023年、サファリPの『透き間』に役者として初出演。指導者としても、コンタクト・インプロヴィゼーションや「身体への気づき」のワークショップを多数行う。



photo:Toshie Kumamoto

チケット

[京都公演/東京公演]

一般早割:4,000円

一般:4,500円

U18:1,000円

障がいのある方とその介助者:2,500円(同伴の介助者一名無料)

当日券 各券種より+1,000円

[愛知公演]

【料金】前売当日同料金

一般:4,000円

U25:1,000円

障がい者割引:2,000円

チケット取り扱い

全席自由席 3月15日(土)10:00~チケット予約開始

○Peatix<京都公演/東京公演><https://akudou2025.peatix.com>

○メニコン シアターAoi<愛知公演のみ>

Web予約: https://meniconart.or.jp/aoi_schedule/akudo/

電話予約: 052-938-7185

窓口販売

* 電話予約・窓口販売の受付時間は平日10:00~17:00。ただし、休館日は除きます。

○ロームシアター京都<京都公演のみ>

・ロームシアター京都 チケットカウンター TEL.075-746-3201

(窓口・電話とも10:00~17:00/年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)

・京都コンサートホール チケットカウンター TEL.075-711-3231

(窓口・電話とも10:00~17:00/第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

・オンラインチケット 24時間購入可 ※要事前登録(無料)

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

* 早割チケットは京都公演は4月30日まで、東京公演は10月31日までに予約および購入された方が対象となります。(名古屋公演は早割チケットはございません)

* 未就学児入場不可

* チケット購入後のキャンセル・変更・払戻はできません。

* U18(18歳以下)およびU25(25歳以下)は公演当日に生年月日が分かるものを提示してください。

* 障がいのある方とその介助者チケットは、障害者手帳等をお持ちの方がご購入いただけます。身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳のいずれかを当日に受付でご提示ください。また、ご同伴の介助者一名まで無料になります。なお、京都公演の劇場取扱いは電話・窓口のみ。

* 車いすで観劇をご希望の方はチケット予約時にお知らせいただくか、『悪童日記』制作部までお問合せください。

* 入場券の整理番号は当日受付順となります。

(※下記の注意事項は愛知公演のみに適用です)

* 障がい者割引をご購入で介助者の方がご同伴の場合、窓口・電話にてお申込みください。介助の方1名様のみ無料です。

* 車椅子でのご来場、補助犬同伴をご希望の方は、お電話にてお申込みください。

* 託児をご希望の方はお電話予約または、Web予約後にメニコン シアターAoiまでお電話ください。

観劇サポート

ポータブル字幕機サービス(日本語、英語)のご案内

[要予約 | 無料・定員制]

上演中、セリフや音響の情報をお客様のお手元でご覧いただけるタブレットを使用したポータブル字幕機の貸出しを行っております。必ず事前にご予約をお願いいたします。

託児サービス

<京都公演>

小さなお子さまをお連れの方も安心してゆっくりと舞台をお楽しみいただけるよう、託児サービスを実施いたします。下記の申込要領をご確認の上、お申し込みフォームにてご予約ください。

委託先: (株)スマイルライフ 京都オフィス(全国保育サービス協会会員)

開催日時: 2024年6月8日(日) 12:15~終演15分後まで。

申込締切: 2024年6月1日(日)

託児人数: 託児スペースの関係上、お預かりできる人数に限りがあります。

定員になり次第、受付を終了させていただきますので、予めご了承ください。

対象年齢: 3か月~就学前

料金: 有料 1,000円(税込) /1公演/お子様1人あたり

※料金は公演当日、託児会場にてお支払いください。

※キャンセルの場合は必ずご連絡をお願い致します。実施日1週間前を過ぎてのキャンセルの場合、ご利用料金が発生致しますので予めご了承ください。

※小学生以上のご利用や申込締切日以降のご希望は「ロームシアター京都 075-771-6051」までご相談ください。

■お申し込みフォーム

<https://pro.form-mailer.jp/fms/d538fb11306793>

※お申込が完了しましたら(株)スマイルライフ 京都オフィスよりメールにてご連絡差し上げます。数日お時間を頂戴する可能性もございますのでご了承ください。申込締切日までに返信メールが届かない場合は、お手数をお掛けしますが、お電話にてご連絡ください。

※お申込フォームでのお申し込みが困難な場合はお電話にてお申込みください。

お電話でのお問い合わせ&お申込み: 075-343-6787(受付時間: 平日・土曜日 9:00~18:00)

<愛知公演>

対象公演: 6月15日(日) 13:00の回

託児をご希望の方はお電話予約または、Web予約後にメニコン シアターAoiまでお電話ください。

電話予約: 052-938-7185(平日10:00~17:00。ただし、休館日は除く。)

・車椅子をご利用の方、盲導犬をお連れの方など、ご来場、ご観劇に関して心配事やサポートの必要がある方は、『悪童日記』制作部までご相談ください。

※その他の鑑賞サポートはウェブサイトですぐご案内いたします。

Flyer English Version



クレジット

原作:アゴタ・クリストフ『悪童日記』(ハヤカワ文庫) 翻訳:堀茂樹
上演台本・演出:山口茜
出演:芦谷康介、佐々木ヤス子、達矢(以上 サファリ・P)、辻本 佳、森 裕子(Monochrome Circus)
作曲:増田真結
舞台美術:夏目雅也
照明:池辺茜
音響:森永恭代
映像:竹崎博人(creative studio Flat box)
衣裳:佐々木ヤス子
舞台監督:大鹿展明
演出助手:村田瞳子
演出部:松本晋輔
宣伝デザイン:山口良太(slowcamp)
日英翻訳:柴田惇朗
宣伝写真・配信用映像撮影:中谷利明
WEB:Penguin Noise
制作:水戸亜祐美(合同会社syuz'gen)、合同会社stamp
(京都公演)主催:合同会社stamp 共催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
(名古屋公演)主催:公益財団法人メニコン芸術文化記念財団
(東京公演)主催:合同会社stamp

プロフィール

サファリ・P

2015年7月、利賀演劇人コンクール2015にて『財産没収』(作:テネシー・ウィリアムズ)を上演。優秀演出家賞一席を受賞。メンバーは芦谷康介、達矢、佐々木ヤス子、池辺茜、森永恭代、山口茜の6名(2025年3月現在)。パフォーマー(俳優・ダンサー)・技術スタッフ(照明・音響)・演出部(演出家・ドラマトウルク)からなる劇団。これまで、主に既成戯曲・小説から作品を立ち上げてきた。物語に底流する作者の生い立ち、時代背景などを重視してテキストを紐解き、その中から選び抜いた最小限のテキストを抽出。パフォーマーに俳優とダンサーが混在していることを活かし、身体と最小限の舞台美術、最小限のテキストのみを使用し、文字だけで立ち上がっていた原作世界の、意外な、しかし間違いなくそこにある要素を立ち上げることを得意とする。2019年6月、FemArt Festival 7thに招待され、ODA Theatre(コソボ共和国プリシュティナ)にて『悪童日記』を上演。2019年10月、瀬戸内国際芸術祭秋会期にて『悪童日記』を上演。

サファリ・P活動歴

2016年 3月 第一回公演『DESIRE LINE -欲望線-』(京都、愛媛)
4月 第二回公演『悪童日記』(京都、東京、愛媛)
8月 第三回公演『財産没収』(京都)
12月 第四回公演『財産没収』(京都、愛媛、沖縄、東京)
2017年 10月 合同会社stamp(ゴウドウガイシャスタンプ)設立
2019年 2月 第5回公演『悪童日記』(大阪、神奈川、京都)
6月 FemArt Festival 7th 『悪童日記』コソボ公演
8月 第6回公演『怪人二十面相』(東京、京都)
10月 瀬戸内国際芸術祭2019 秋会期参加『悪童日記』
2021年 1月 第7回公演『砕かれた四月』-プロトタイプ-(京都)
10月 HITOMIホールプリズムステージ
カウンターテナー 藤木大地
歌曲の調べ & モノオペラ『ひとでなしの恋』(愛知)
12月 トリコ・A × サファリ・P vol.1『PLEASE PLEASE EVERYONE』(京都)
2022年3月 第8回公演『透き間』 イスマイル・カダレ『砕かれた四月』より(京都・東京)
2023年5月 第9回公演『透き間』(愛知・大阪)
2024年4月 第10回公演『悪童日記』(京都)